

光スポーツ公園・光工業団地工事状況

開発地区内には、一部軟弱地盤があり、切土、盛土工事に先がけ地盤改良工事を実施しています。

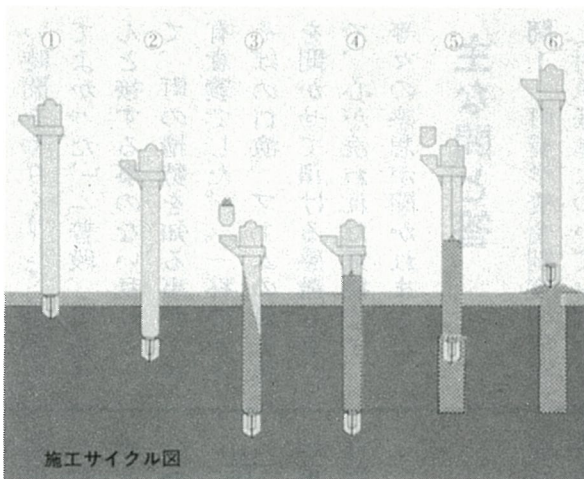
地盤改良工事の工法として、海上、陸上で多くの実績をもつ「サンドコンパクションパイプ工法」「サンドドレーンパイプ工法」「深層混合処理」の各工法を採用し施工中です。

サンドコンパクション工法

良質の砂を強制的にケーシングパイプから軟弱地盤に吐出させることにより、砂抗と粘性土の複合地盤を構成させる工法で、これにより地盤強度が高まり、上物構造物を安全に支持することができます。また、地震時の液化化防止にも用いられる汎用性の高い工法です。

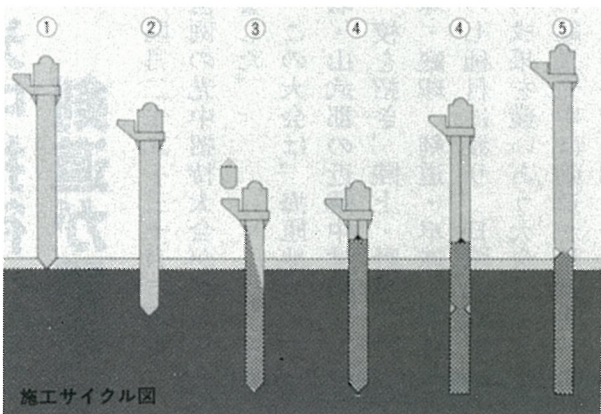
サンドドレーン工法

光スポーツ公園・光工業団地は軟弱な粘性土質で透水性が悪く、支持力の不足や長期間にわたる沈下現象が想定されます。この工法は軟弱地盤中に砂抗を造成することにより、排水「圧密排水」を促進し、



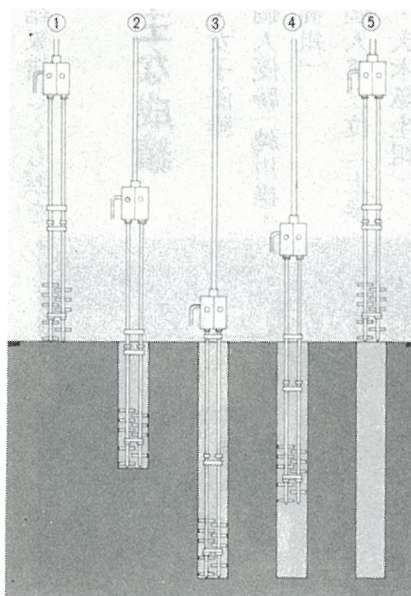
▲サンドコンパクション工法

サンドドレーン工法

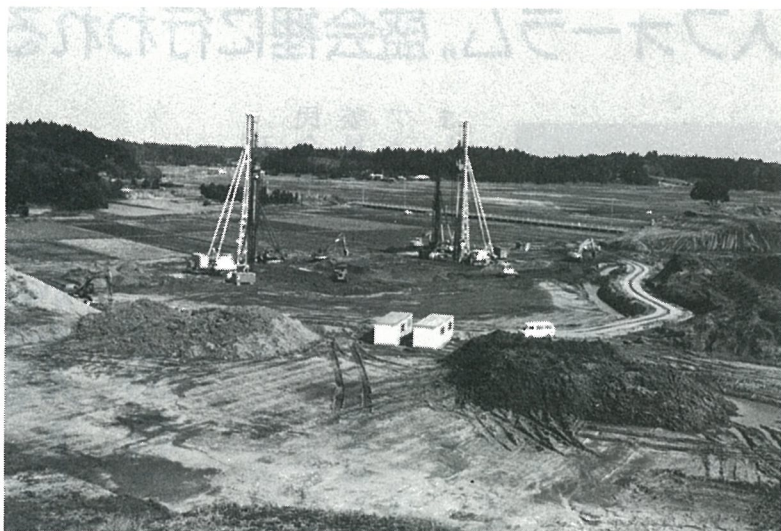


深層混合処理工法

生石灰・セメント等の化学反応を利用し、地盤中の原位置で軟弱粘性土とこれらをかはん混合し、強固なパイプを造成して地盤改良を図る工法で、側方流動現象（軟弱地盤層が盛土により圧縮され、軟弱地盤層が土中を通過して側方（近隣用地）へ流れ出る現象）を防止します。



▲深層混合処理工法



▲工事中のスポーツ公園・工業団地